

様式第3号(第12条関係)
審議会等の会議の記録

会議の名称	令和6年度第1回伊勢崎市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	令和6年11月7日(木) 午後2時00分～3時45分
開催場所	緋の郷 円形交流館 多目的ホール
出席者	【委員】 大下会長、中西副会長、尹委員、備前島委員、市東委員、久保田委員、赤尾委員、内田委員 【市出席者】 (本部長) 新井総務部長、星野企画部長、丸橋財政部長、深澤環境部長、石橋健康推進部長、井田福祉こども部長、清水長寿社会部長、定形産業経済部長、田中農政部長、大橋建設部長、山田都市計画部長、小此木経営企画部長、小林教育部長 (補助員) 小此木事務管理課長、横堀GX推進課長、中野健康推進部副部長、村越健康管理センター所長、柿沼社会福祉課長、森村子育て支援課長、斎藤こども保育課長、関根障害福祉課長、茂木高齢政策課長、徳江地域包括支援センター所長、石原商工労働課長、春山企業誘致課長、五十嵐文化観光課長、西目農政部副部長兼農政課長、高橋農村整備課長、小沼交通政策課長、五十嵐区画整理課長、井上教育施設課長、小保方学校教育課長、町田四ツ葉学園中等教育学校事務長、関根学務課長、百瀬健康給食課長、高橋生涯学習課長、和佐田図書館課長、吹上文化財保護課長 (事務局) 川端企画部副部長、倉上企画調整課長、阿左美課長補佐、小池主査、北爪主査、田村主査
傍聴人数	3名

会議の議題	(1) 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について (2) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業及び令和5年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の効果検証について (3) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業の効果検証について (4) 令和5年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について (5) 重点プロジェクト（素案）及び伊勢崎市人口ビジョン（素案）について
会議資料の内容	[資料1] 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について [資料2] 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート [資料3] 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について [資料4] 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート [資料5] 令和5年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の効果検証について [資料6] 令和5年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業効果検証シート [資料7] 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業の効果検証について [資料8] 令和5年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について [資料9] 重点プロジェクト（素案） [資料10-1] 伊勢崎市人口ビジョン（素案）概要 [資料10-2] 伊勢崎市人口ビジョン（素案）

委員会議における議事の経過及び発言の要旨	1 開会 2 会議運営に関する確認事項について 会議時間や会議情報の公表について確認した。 3 議事 (1) 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について ○資料1、資料2により説明 【資料の修正】 ・資料2 3ページの重要業績評価指標（KPI）「出生数」の計画最終年度目標値 (修正前) 令和6年度以降は「年少人口」へ変更 (修正後) 令和6年度以降は「<u>3歳児健康診査受診率</u>」へ変更 ・資料2 3ページの重要業績評価指標（KPI）「妊婦健康診査受診率」の進捗状況 (修正前) 概ね順調に進捗 (修正後) <u>進捗の遅れ</u>（進捗が遅れている理由欄には、多忙、経済的理由、妊娠届出の遅れ、流産、外国人の母国への里帰り出産等が考えられる旨を記載） ※この修正に伴い、資料1の2ページ・4ページの進捗状況の円グラフも修正 ・資料2 5ページの重要業績評価指標（KPI）「特定健康診査実施率」の計画最終年度目標値 (修正前) ※第3期保険事業実施計画・第4期特定健康診査等実施計画検討にあわせて設定予定 (修正後) <u>49.0%</u> ・資料2 5ページの重要業績評価指標「伊勢崎駅周辺の中心市街地における歩行者等通行量」の令和5年度実績値 (修正前) <u>2,555人</u> (修正後) <u>1,278人</u> 【事前質問への回答】 ＜委員の事前質問＞ 資料2の1ページ、数値目標「新規求人数」について、令和5年度の実績値1,472件は、令和元年度の基準値及び令和4年度の実績値よりも減少しており、令和5年度の目標値1,594件にも届いていないが、進捗状況は「概ね順調に進捗」でよいのか。 ＜産業経済部長＞ 全国的にも新規求人数がコロナ禍前の実績を下回る傾向がある中で、セミナー開催等により雇用促進の支援に取り組み、新規求人数の進捗に資するものであったと考え、当初設定した目標値には届いていないが、状況を考慮して「概ね順調に進捗」と設定した。 ＜委員の事前質問＞ 資料2の1ページ、KPI「製造業の事業所数」について、令和元年度の基準値と、令和5年度実績値187事業所と同数で現状維持となっているが、進捗状況は「概ね順調に進捗」でよいのか。 ＜産業経済部長＞ 製造業の事業所数は令和元年度からの事業所数の推移から、概ね順調に進捗と判断した。
-----------------------------	--

	令和元年度は187事業所であったが、翌年度は197事業所に増加した後、令和3年度はコロナ禍による影響もあってか182事業所に減少し、令和5年度の実績値では基準値である187事業所まで回復してきた。令和6年度のデータでは、191事業所まで増加している。 このように数値が増加傾向であることや、企業からの立地等の引き合いも増加している点から、次の調査結果においても増加することが大いに見込まれるため、概ね順調に進捗と判断した。 <委員の事前質問> 資料2の3ページ、KPI「妊婦健康診査受診率」について、令和5年度の実績値78.1%は、令和元年度の基準値及び令和4年度の実績値よりも減少しており、令和5年度の目標値82.0%にも届いていないが、進捗状況は「概ね順調に進捗」でよいのか。 <健康推進部長> 令和5年度実績値は、令和元年度、令和4年度より低下していることから、委員の御意見のとおり、進捗状況を「進捗の遅れ」に修正させていただく。また、進捗状況の右隣の欄にある「進捗が遅れている理由」については、多忙、経済的理由、妊娠届出の遅れ、流産、外国人の母国への里帰り出産等が考えられるため、その旨を記載させていただく。 <委員の事前質問> 資料2の5ページ、KPI「特定健康診査実施率」について、進捗状況に「進捗の遅れ」とあるが、進捗が遅れている理由欄に記載のとおり目標値が実態から見て極めて高く設定されていることが原因だと思う。数値自体は増加傾向で、県平均を上回っており、最終目標値も見直しを予定していることから、進捗状況は「概ね順調に推移」でよいのではないのか。 <健康推進部長> 本市の実績値は増加傾向にあり、国及び県の平均を上回っているものの、今回の進捗状況は令和5年度目標値に対しての評価になるため、「進捗の遅れ」としたものの。国の定める特定健康診査等基本指針において、市町村国保の目標値を60%以上としていたことから、これに合わせて本市の目標値も60.0%としていたが、委員のご指摘のとおり極めて高い目標値設定となっていた。これを踏まえて令和6年3月に策定した第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画では、目標値を令和9年度に49.0%とし、本市の実態に合わせた目標値とした。これに伴い、計画最終年度目標値を、49.0%に修正させていただく。 <委員の事前質問> 資料2の5ページ、KPI「中心市街地整備事業の進捗率」について、進捗状況に「進捗の遅れ」とあるが、令和5年度実績値は67.7%で、目標値71.4%を下回ったとはいえ、着実に伸びているので、進捗状況は「概ね順調に推移」でよいのではないのか。 <区画整理課長> 第2次伊勢崎市総合計画における実施計画において、将来予定している事業費をベースに目標値である進捗率を算出している。委員のおっしゃるとおり、事業は着実に進捗しているところだが、事業費には、国庫補助金を活用し進めていることや、移転協議を進めている関係権利者の動向により、計画どおりに進まないことが想定される。以上のことから、現状を加味すると、原案のとおり「進捗の遅れ」とさせていただくが、今後も国庫補助交付率の向上に向けて国や県に要望をしつつ、関係権利者との移転協議がスムーズに行われるよう努めながら、事業を進めていく。
--	--

	<委員の事前質問> 資料2の5ページ、KPI「伊勢崎駅周辺の中心市街地における歩行者等通行量」について、令和4年度実績値1,098人に比べて、令和5年度実績値2,555人と倍増しているが、その要因として考えられることがあれば教えて欲しい。 <産業経済部長> 通行量は伊勢崎駅南側のシンボルロード沿いの2地点の平均値だが、令和5年度の実績値2,555人については、2地点の合計値を誤って記載していた。正しくは1,278人となるので、修正させていただく。 令和4年度に比べて180人増となるが、伊勢崎駅周辺でいせさき楽市等の持続的なにぎわいづくりを行うことが、地域住民のまちなかへの関心と活性化への機運の高まりにつながっているものと考えます。 ①しごとの創生 【質疑・意見等】 <委員> 資料2の1ページに、重要業績評価指標（KPI）「創業相談件数」の主な取組・事業実施状況として、「市内で新たに創業する事業者に対し、支援を行った」との記載があるが、具体的にはどのような支援を行っているのか。 <商工労働課長> 市内の商工団体や金融機関において、特定創業相談という形で事業を実施していただいている。2ヶ月にわたって4回以上の相談を実施し、基本的なことを身につけていただくもの。 <委員> 創業者に対する税制面や償却面についての優遇措置など、そういった支援は行っているのか。 <商工労働課長> 一番大きなものとしては、市の方で創業促進サポート補助金という補助制度を実施している。通常100万円、中心市街地については150万円の補助を行うもの。その前段として、創業相談を受けていただいているという形である。 【効果検証】 <会長> 事務局案としては、課題が残るものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる「効果があった」という評価が示されている。進捗の遅れが見られるものの、効果があったということで、効果検証の結果は事務局案のとおりとしたいと考えるが、どうか。 （異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。） ②ひとの創生 【質疑・意見等】 <委員> 事務局からの説明の中で、重要業績評価指標（KPI）「出生数」の計画最終年度目標値欄を「年少人口へ変更」から「3歳児健康診査受診率へ変更」に修正するとあったが、数値目標「合計特殊出生率」については「年少人口」へ変更のままでよいのか。 <企画調整課長> 数値目標「合計特殊出生率」については「年少人口」へ変更のままと
--	---

	なる。 <委員> 放課後児童クラブについて、伊勢崎市では金額面での支援を行っていないと聞いた。子育て支援の充実の達成度を測るのであれば、現在の重要業績評価指標（KPI）よりも、実際の利用者数の方がよいのではないか。 <子育て支援課長> 放課後児童クラブ及びその利用者への支援は、それぞれ本市においても実施している。 実際の利用者数は、概ね現在3,000人ぐらいの方に利用していただいており、年々その数は増加傾向にある。 <会長> 委員の意見は、利用者数の増加も分かるような記載にした方がよいという意見として受け止め、来年度以降の評価に反映して欲しい。 【効果検証】 <会長> 事務局案としては、課題が残るものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる「効果があった」という評価が示されている。事務局案のとおりとしてよいか。 （異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。） ③まちの創生 【質疑・意見等】 <委員> 伊勢崎駅周辺の中心市街地の活性化は、どのような意義、目標があるのか。車社会である本県において、自動車利用が不便なまちなかで空洞化が進むのはある意味当然のように感じる。郊外に大型商業施設ができたことで、人口が増加している地区もある。 <商工労働課長> 中心市街地活性化の取組は、周辺部から人を持っていきたいという狙いではなく、歴史や文化を伊勢崎の特徴として生かしながら、歩いて暮らせるようなエリア、歩いて遊びに来れるようなエリアということで、伊勢崎市の新しい魅力の一つとして整備の方向性を出していきたいと考えている。 <委員> 歩行者のことも考えるなら、高齢者向けの福祉施設や集合住宅を駅前に整備できるとよいのではないか。運転免許証を返納した高齢者と、歩いて散策して欲しい中心市街地の商店街とのニーズが合致する。海外での事例もある。 <会長> 全国的にも地方都市における中心市街地回帰というのは進んできている。既にあるものを新しく作り直すのではなく、使い方一つを変えることによって街が蘇ることも多々あるので、中心市街地活性化に関わるような計画において参考にして欲しい。 <委員> 来年には、中心市街地において新しい保健センターがオープンすると聞いている。また、織物協同組合の所有地等を利用し、老人をはじめ幅広い世代が集まれる場所づくりの計画があると聞いている。 【効果検証】
--	---

	<会長> 事務局案としては、課題が残るものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる「効果があった」という評価が示されている。事務局案のとおりとしてよいか。 <委員> 数値目標「伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合」が年々高まっており、令和5年度の目標値も上回るという結果が出ている。この指標は重要な指標であり、これを重視して「相当程度効果があった」と上方修正してもよいのではないかと。一方で犯罪刑法犯認知件数は上昇しているが、これは社会情勢や経済動向にも左右されるもので、市の努力だけでは限界がある部分がある。 <委員> 私も「相当程度効果があった」でよいと思う。ただ、刑法犯認知件数が県内でも非常に多い地域という形の注目度があるので、市として警察署等との連携をしながらどのような取組を行っているのか伺いたい。 <総務部長> これまでの経過では、平成15年の5,411件をピークにして減少に転じており、令和3年には1,217件まで減少している。令和5年度実績では増加に転じてしまっているが、自転車やオートバイの盗難といった身近な犯罪が増えているため、施錠の重要性などの啓発活動を行うとともに、関係団体と協力し、防犯パトロールを実施している。今後もさらに警察署との連携を深めながら、刑法犯認知件数が減少に転ずるよう努めてまいりたい。 <会長> 創生会議としての評価を決定したい。委員からは「相当程度効果があった」に事務局案から上方修正してはどうかとの意見があったが、意見のとおり「相当程度効果があった」と評価してよいか。 （異議なし。創生会議としての評価を「相当程度効果があった」に決定。） （2）令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業及び令和5年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の効果検証について ○資料3～資料6により説明 【質疑・意見等】 なし 【効果検証】 <会長> 事業の枠組みというのが定められている中で、各事業の担当課が一生懸命に取り組んでいるという印象である。事務局案のとおり、「物価高騰の影響の軽減」を「早期に実施する」ことについて、事業ごとに設定した成果目標を概ね達成できたことから、低所得世帯への支援、生活者への支援、事業者への支援の3つの柱のそれぞれで、一定以上の効果があったと考え、「相当程度効果があった」と評価してよいか。 <委員> 資料を拝見する中では、課題があまりないと感じたので、「非常に効果的であった」という評価でもよいのではないかと感じた。課題があるのであれば、教えていただきたい。 <商工労働課長>
--	---

	人手不足や物価高騰でまだまだ苦しいと事業者の方からは伺っている。単年度事業としては、大きな課題はないと考えているが、そういった部分も含めて評価した。 <会長> ここは事務局案のとおり「相当程度効果があった」と評価してよいか。 （異議なし。創生会議としての評価を「相当程度効果があった」に決定。） （3）令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業の効果検証について ○資料7により説明 【資料の修正】 ・資料7 2ページの成果目標③「県外展示会での新規契約数」の令和5年度実績 （修正前）<u>1</u>件 （修正後）<u>2</u>件 【事前質問への回答】 <委員の事前質問> 資料7の1ページ、成果目標③「まちなかにおけるにぎわいづくりに資する事業への来場者数」について、いせさきまつりでの移動動物園・水族館の他に、どのような事業を行ったのか。 <産業経済部長> 伊勢崎駅南口駅前広場では、まちなかイルミネーションや高校生フェスタ等の市主催事業のほか、官民が連携した事業としていせさき楽市を定期開催した。また、伊勢崎駅前インフォメーションセンターでは、地域活性化に取り組む人材育成を目的としたまちなか未来学校などを定期開催し、さらには、伊勢崎駅構内自由通路を活用して、eスポーツ体験会を実施した。 今後もまちなかの賑わい創出のため、効果的な情報発信や魅力的なイベントの実施を検討していく。 <委員の事前質問> 資料7の1ページ、まとめ（検証結果）について、今後は補助金を受けずとも自走していける仕組み作りを検討していく必要があると記載しているが、現時点で考えていることはあるか。 <産業経済部長> 伊勢崎駅周辺の駅前インフォメーションセンターや自由通路、南口駅前広場等の公共空間において、民間団体が営利を含めた利用がしやすい環境を整えることで、にぎわいづくりに取り組む民間組織の活動を促す。民間団体等の活性化した活動により、イベント参加料や広告料、寄付金などの収入が生まれ、補助金を受けずとも自走できる民間主体のまちづくりの仕組みを考えている。 <委員の事前質問> 資料7の2ページ、成果目標②「市内・県内展示会での新規契約数」及び成果目標③「県外展示会での新規契約数」について、市内・県内外の展示会での新規契約数が苦戦しているが、令和6年度は伸びている傾向はあるか。 <産業経済部長> 令和5年度においては2つの展示会に、7社に出展いただいた。成約
--	---

	件数については、1件ではなく2件が正しい実績であり、資料を修正いただきたい。令和6年度については、3つの展示会に、11社に出展していただく予定となっている。また、すでに今年度は1件・25万円の成約があり、すでに開催した展示会（機械要素技術展）では、昨年と比較し、見積・試作の依頼が増加しており、契約数が伸びる要素はあると考えている。 ①まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト 【質疑・意見等】 <委員> 駅前で楽市等が行われているが、例えば屋根付きのステージを整備するなどできないか。広場で漠然とやるよりも、屋根のついたステージなどがあった方が、もっと賑わうのではないか。 <商工労働課長> 駅前広場では、社会実験という要素もあり、イベントやセミナーなど、様々な取組を積み重ねていきたい。その中で、いただいたご意見については、庁内で連携を図り、今後の整備等の検討に活用してまいりたい。 【効果検証】 <会長> 3つ設定した成果目標のうち、「成果目標① まちなかで新たに創業した事業者の数」は目標達成に至らず、今後の改善課題が残ったが、残る2つの目標については目標を大幅に上回る実績が得られたことから、事務局案のとおり、「相当程度効果があった」と評価してよいか。 （異議なし。創生会議としての評価を「相当程度効果があった」に決定。） ②Made in いせさき しごと創生プロジェクト 【質疑・意見等】 <委員> 創業に当たっては、まず資金を借入れするが、借入金の返済に対して課税されるのが創業期では大変である。経理上、法律的な制約があるかもしれないが、創業時の借入金の返済や、償却資産に対する減免等ができるような制度があるとよいと思う。創業支援として、検討していただきたい。 <会長> 国の制度上の問題もあるかと思うので、ご意見として捉えたい。 【効果検証】 <会長> 達成できた目標は1つにとどまったものの、市内企業からは、企業PRのために引き続き各種展示会への出展を続けたい等の前向きな声も聞かれており、販路拡大に向けて、取組を前進したいという考えもあることから、事務局案のとおり、「効果があった」と評価してよいか。 （異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。） ③産業ニューノーマル創出事業 【質疑・意見等】
--	---

	なし 【効果検証】 <会長> 事務局案として、県との連携に加え、商工会議所や商工会の協力を得て、SDGsの理念を経営方針に取り入れた市内事業者の増加を図ることができたことから、「効果があった」とする案が示されている。この事業は群馬県が主体となる事業で、伊勢崎市が実施しているのはそのごく一部だということもあるので、事務局案のとおり「効果があった」としてよいか。 (異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。) (4) 令和5年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について ○資料8により説明 【質疑・意見等】 なし 【効果検証】 <会長> 学校給食の材料費の高騰への対応や、小中学校に設置されている防犯カメラの更新・増設に取り組み、事業としての効果は大きかったと考えるが、地域再生計画における成果目標の達成に向けては、さらに多くの取組の進捗を図る必要があり、今回の4事業の成果が与える影響は限定的であることから、「効果があった」とする事務局案が示されている。 事務局案のとおり、「効果があった」と評価してよいか。 (異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。) (5) 重点プロジェクト(素案)及び伊勢崎市人口ビジョン(素案)について ○資料9、資料10-1、資料10-2により説明 【質疑・意見等】 なし (創生会議において、重点プロジェクト(素案)及び伊勢崎市人口ビジョン(素案)について決定。) 4 その他 <委員> 今年のいせさきまつりの来場者数は、昨年より1万人多かったと聞いているが、要因等は分かるか。 <文化観光課長> 商工会議所青年部がお祭り広場等で開催した催しに相当数の来場があったことや、コロナ明けということで、コロナ禍の前と変わらない規模で来場いただいたことにより、1万人の増加となった。 5 閉会 【連絡事項】 次回の創生会議は、現在のところ未定である。
--	--

	創生会議委員に兼務いただいている総合計画審議会は、最終回となる第8回を12月9日（月）に開催予定であり、開催通知を本日配布させていただいた。
--	---